

令和 6 年度 富谷市立成田中学校 学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 1 2 日
学校関係者評価委員会

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

◎ 今年度の学校経営 8 つの重点

<p>学力向上</p> <p>①基礎・基本の定着を図るための学習指導の工夫。 ②主体的・対話的で、深い学びのための指導の工夫。 ③「学び合い」の推進。 ④時代に求められる力である「協同する力」と他者に「表現する力」の育成。</p>	<p>豊かな心とたくましい体</p> <p>①「考える道徳」「議論する道徳」の指導の充実。 ②思いやりの心とコミュニケーション能力の育成。 ③心と体を育てる「人づくり」としての部活動の推進。 ④生徒の自治的活動を支援する特別活動の推進。</p>	<p>志教育の推進</p> <p>①夢や目標を意識し、その達成に向かって主体的に活動する場の設定。 ②勤労観や社会性を養う体験活動の充実。 ③理想の生き方を求める啓発的な学習の場の設定。 ④自己の役割を果たす活動。</p>	<p>安心・安全な環境</p> <p>①生徒が安心して学習・生活できる学級づくりの充実。 ②生徒が生涯にわたって自己の命を守るために必要なスキルや知識を習得する防災教育の充実。 ③施設・設備等の安全管理。 ④教職員の危機管理意識の強化。</p>
<p>生徒指導の充実</p> <p>①生徒指導の三機能を意識した積極的な生徒指導。 ②引きこもりゼロを目指した不適応生徒の未然防止。 ③いじめ根絶を目指した取組の強化。 ④生徒理解の充実。</p>	<p>特別支援教育の充実</p> <p>①支援が必要な生徒の実態把握と実態に応じた教育課程の編成。 ②発達障害の理解と適切な支援の充実。 ③将来の自立に向けた支援。 ④特支学級の生徒が輝く活動。</p>	<p>信頼される開かれた学校</p> <p>①積極的・定期的な情報発信。 ②学校評価の実施と公開。 ③地域との連携強化と地域貢献活動の推進。 ④行事や授業の積極的な公開。 ⑤丁寧な進路指導の充実。 ⑥小中連携の強化。</p>	<p>教職員の資質・能力の向上</p> <p>①校内研究の推進。 ②分掌・教職年数・個々の課題に応じた研修への参加。 ③学校課題解決を目指した校内パワーアップ研修会の充実。 ④教職員の組織力の向上。 ⑤教職員評価の活用。</p>

◎ 取組状況

- ・令和 6 年度学校評価における職員、保護者アンケートの集計結果に基づいて、重点事項に関する報告を受けた。また、質疑応答において補足説明を受け、重点事項に関しては概ね良好に取り組んでいるものと認められた。

(2) 成果について

- ・保護者アンケートの結果、「よく出来ている」と回答した割合が、昨年度に比べて 19 項目全てにおいて上回った。また、「分からない」と回答した割合が、昨年度に比べて 19 項目中 17 項目で減少した。これは、学校だよりや学校ホームページ内のブログ等で情報を発信したことにより、学校の様子を知る機会が増えた結果と推察される。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・先生方の業務縮減を意識した取組が進む一方で、授業以外の業務量の多さが感じ取れる。過度な長時間労働にならない組織作りや会議の精選等、負担が軽減される事を期待する。
- ・個人情報の取扱いは年々厳しくなっている。持ち帰らないと仕事が間に合わないのであれば、業務の改善が必要。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりのデジタル化や会議のペーパーレス化が進むとよい。 ・PCを使わない人達の為にも、学校だより等の町内会回覧は是非お願いしたい。 ・コロナ明け、子供達と地域がどうやって手を取り合えるのかをさらに工夫していきたい。 ・教育計画に改善点が具体的に反映される取組を進めてほしい。 ・安全管理については「特色ある教育活動」である防災教育が長く続いているのでAAとしたい。 ・防災マニュアルの見直しや活用がしっかりとされている。 ・安全点検とその対応がきちんとなされている。 ・個人情報の持出しについてしっかり管理されている。 ・校内研修が充実していて、成果も上がっている。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	A	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力の二極化」について、一人一人の個別対応は難しい。異教科間で情報を共有し、つまずいた生徒を見過ごすことのないようにしてほしい。 ・授業改善・指導力向上に努めているが、保護者アンケートの評価が他の項目に比べて低めなので、取組や成果について伝えていく事も必要。 ・ローテーション道徳はとても良い機会だと感じた。たくさんの先生方が参加することで生徒の思考の幅が広がる。 ・学級憲章を意識した取組がなされている。 ・学校だよりの生徒総会の記事から「一人一人が誰かをつなぎ、それが全体のつながりとなり、夜空に輝く星のように、みんなをつなぐたい」『星天』というスローガンに、成田中生らしい優しさと、今の時代を生きて抜く強さを感じた。 ・募集停止の部活動が5つもあることに驚いた。生徒数の減少から止むを得ないことだと思う。 ・小学校からの学校見学や小学校への出前授業、情報交換などがなされている。 ・授業を中心とした校内研究で実践的な取組をしている。
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	

課題教育	1 環境教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク教育は中学からでは遅い。小学校時代の最初の一步がとても重要。トラブル防止として大切なのは、親も学び、各家庭でのルール作りをすること。学校任せにしないこと。その為に保護者向けSNSの学びの場が小中合同であれば良い。 ・外部講師を活用するなど、情報モラル教育（特にSNSに関して）の指導を充実させたい。 ・避難訓練や防災活動は、以前より素晴らしい内容だと感じる。いざという際、落ち着いて行動できればと思う。 ・全校で防災学習や避難訓練に取り組んでいる。 ・SNS等が普及しても紙での読書習慣は大切。 ・成田中の残食の多さは、何年も前から課題である。残す理由を生徒たちに聞いてみたい。 ・生活習慣を中学生から変えるのは難しい。小学校と情報交換し、「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組む必要がある。 ・食に関する指導、特に残食指導は、学校だけでは難しいと思うが、工夫が必要だと思う。 ・小中連携については年度内に計画し、確実に引き継いでほしい。
	2 情報教育	B	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の危機管理体制が整っている。
いじめ問題への取り組み		B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題は「一人じゃない。地域からいつも見守っている」という事を知ってほしい。 ・情報共有や組織的対応が迅速になされている。